

港区立小中一貫教育校お台場学園 港陽小学校

平成 29 年度 授業改善推進プラン

教育目標

○自ら考え、自ら学ぶ人 ○心豊かで思いやりのある人 ○心身ともに健やかな人

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

【確かな学力の定着・充実】小中学校の学びの連続・系統性を重視し、確かな学力の向上を図る。

- 校内研修の充実（「特別の教科 道徳」の授業づくり）
- 国際科・英語科国際の授業の充実
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 小中学校が連携した授業づくり（家庭・音楽・図画工作）
- 3～6、7～9年生の習熟度別少人数指導等の充実（算数・数学、英語）
- 読書活動の充実（朝読書等）

昨年度の成果と課題

- お台場アカデミーとして、合同で行事を実施するなど、接続期のギャップを最小限にすることができた。
- 社会に貢献しようとする意欲や他者を思いやる心などのボランティアマインドを醸成することで、自尊感情を高めることができた。
- ▲東京ベーシックドリルなどで児童のつまずきを分析した。発展的な学習なども含め、個に応じた更なる指導が必要である。
- ▲小中それぞれの取組など一貫校の良さをアピールする場を多く設定する。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○小中教員が協働し、指導にあたるよう時程・時間割を工夫するとともに、授業時数を十分に確保する。 ○基礎・基本の定着を図るため、モジュール授業を週3回設定する。 ○幼稚園・保育園との交流活動を通して、豊かな学びを実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○9年間の系統性を重視した ODAIBA プランを基に、5年生より一部教科担任制を導入し、指導の充実を図る。 ○学力調査の結果を分析し、課題に対して効果的な指導方法を検討し、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の趣旨に沿って、各教科、単元ごとに評価規準と評価場面、評価方法を明確にする。 ○形成的評価を充実させ指導と評価のPDCA サイクルにより授業改善を図る。 ○児童の自己評価やアンケート調査の結果を分析し、指導に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中合同の校内研究を行い、「特別の教科 道徳」の指導について授業づくりを推進する。 ○小中一貫カリキュラム「DAIBA プラン」に基づいて授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動について、家庭や地域へ情報を公開し、理解を促し、支援を得る体制をつくる。 ○基本的な生活習慣が身に付くよう家庭に協力を求める。 ○学校評価やアンケートの結果を学校運営に生かす。

具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事を精選し、時程を工夫することにより授業時数を確保する。 ○国語・算数において各15分間の「基礎・基本タイム」を行うことで、学習した内容の定着を図る。そのうち週1回読書タイムを設け、本に親しませる時間を確保し読む力をつけていく。 ○年間を通して、幼稚園・保育園との交流活動を計画的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中の教員が連携し、より効果的なプランを提案する。 ○家庭科・音楽科において教科担任制を導入することで、学習内容の充実を図るとともに児童の学習意欲を喚起する。 ○学力調査により明らかになった各教科の課題を分析し、具体的な対策を立て、実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業内評価と支援の方法を工夫することで、指導と評価の一体化を充実させる。 ○小テストやレディネステストを随時行い、児童一人一人の学習状況を把握し、指導に生かす。 ○個別に支援が必要な児童については、個別指導計画を立て、きめ細かく指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆「特別の教科 道徳」の全体指導計画・年間指導計画と別案を作成する。 ☆全学級で道徳の授業研究を行い、主体的・対話的で深い学びとなるように発問や評価の在り方について工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動の様子を学園便りやホームページで家庭や地域に公開し、理解と協力を得る。 ○道徳授業地区公開講座の講演会や保護者会などで子供たちに思いやりの心や倫理観、正義感について学校・保護者・地域等で共に協力して育てていくことを啓発する。 ○体力テストの結果を分析・考察し、健康アップ会議において保護者や地域に知らせると共に基本的な生活習慣の重要性について啓発する。 ○学校公開のアンケートや学校評価の結果を学校運営や指導に生かす。
---	--	--	--	---

☆→今年度からの取組 ○→定着・継続している取組 ▲→活性化が必要な取組